

愛知民報

2016年
12月4日
第2331号

発行所 愛知民報社

〒460-0007 名古屋市中区新栄三丁目12番25号
愛知あかつき会館内
☎(052)251-2925 FAX(052)261-6063
定価 月400円 郵送料164円 1部100円
毎週日曜日発行(第5日曜日は休刊)
1966年7月31日第三種郵便物認可

週刊

愛知民報を
周りの人に

古屋市
副委員長、衆院比例東海・小選挙区、名古屋市議名東区補選の各予定候補
25日、名古屋



総選挙勝利、野党連合政権実現へ

日本共産党を強く大きく

一步の挑戦が社会変える 大学生党员

演説会では昨年11月に日本共産党に入党した男子大学生が登壇し、入党の動機やいま参加している活動を報告しました。

大学生は「差別のない、誰もが助け合う社会をつくる」という日本共産党の主義に賛同して入党しました。青年支部の活動に参加し、勇気を出して街頭スピーチやシールアンケートに挑戦しています。一步の挑戦が社会を変えると思います」と入党の動機を語りました。

元自衛官が共産党議員に 橋本浩三一宮市議

元陸上自衛隊員の経験を持つ橋本浩三日本共産党一宮市議は、安保法制=戦争法の廃止の先頭に立つ決意を述べました。

橋本議員は「母子家庭で育ち、独り立ちしたいという想いでした。自衛隊では人型の標的を実弾で撃つ訓練をしました」という経験を紹介。

「教員から『教え子が自衛隊を辞めたいと言っている』という話を聞きました。共産党躍進こそ自衛隊員の命を守ると思います」と訴えました。



田村智子日本共産党副委員長

日本共産党愛知県委員会は11月25日名古屋市昭和区の市公会堂で、田村智子副委員長・参議院議員を迎えた「日本共産党が丸ごと分かる大演説会」をおこないました。

演説会は、「安倍自公政権と補完勢力対市民と野党の共闘」という新しい対決構図のもと、総選挙で野党共闘

「いのち・女性ネット」共同代表の白井えり子日進市議がメッセージを寄せ、全国ネットママの会@愛知の宮崎里香さんが日本共産党への期待を語りました。

本村伸子衆院議員(比例東海)、衆院小選挙区香さんは日本共産党へは、日本共産党がめざす日本の姿を有権者に知らせる必要がある」と強調。同党綱領の立場を縦横に語り、「日本共産党を応援するだけではなく、時代を切り開く生き方を。日本共産党に入つて一緒に新しい政治を実現しよう」と訴えました。

田村副委員長の呼びかけに応え、参加者が会場で入党を決意しました。

衆院予定候補が登壇

田村副委員長が訴え

11月25日までに発表された日本共産党の衆院選予定候補は次の
みなさんです。

県内小選挙区 予定候補



衆議院議員 本村伸子



衆議院議員 島津幸広

がつとう義博

5 区



酒井ケンタロー

2 区



大野ひろみつ

1 区



田上みつのり

6 区



牧野 次郎

12 区



いたくら正文

10 区



渡辺ひろし

9 区



長友ただひろ

8 区



下島 良一

13 区



くしだ真吾

15 区



金原のぶゆき

14 区

